

# 地域おこし協力隊通信

第13回

この教室の片隅に…

地域おこし協力隊 小野寺太樹

小野寺です。僕のふるさとと気仙沼は雪があまり降らないので、白鷹町の雪の多さに圧倒されています。

冬の夜中、よく耳にする「ごごおー!!」という音。家の隣の道を除雪車がそのような音を立てていくので驚いています。それで目が覚めます。雪道の車の運転もスリッパしないか恐る恐る運転してきます。スキーや雪灯籠、雪国の暮らしの大変なところが、良いところを実感しながら四季を感じる事ができて僕はうれしいです。



写真は先月、滝野交流館で開催されたそば祭りです。見た目は職人(?)のようですが…。ちなみにそばを伸ばして切ったりしたのはこの写真1回だけで、あとは迷惑にならないよう、ひっそり教室の片隅にひたすらそば粉をこねていました。このこねる作業も大変で、ちょうど良い硬さにしていくのと、しわを消したり、丸くしたり、最初は全くできませんでした。それでも「じよんだじよんだ」と言われながら、何度も練っていくうちに、少しずつ覚えることができました。見えないところでたくさんの方の笑顔を生み出している滝野そば愛好会の皆さんがとても素敵です。

もうすぐ春ですね。山菜そばが食べたくなってきました。

## 町報川柳 — 進 —

一歩進み二歩戻っても春は来る  
台風の進路はズレてなでおろす  
遠回り紅梅みたさ足進む  
冬野菜雪を掻き分け進み取る  
明日へ進む無限の人生一本道  
箱根路に進退かけたたすきの和  
進んでる白鷹広報自慢です  
精進はしてるが金は貯まらない  
新進は目にも脳にも心地よし  
進退の岐路還暦に重み増す  
一歩つゝ前進してる子の歩み  
進学塾合格者数競い合う  
町おこし進んでやるかがんばって  
我が人生苦を花にして前に進む  
古い進み杖に頼っても追い付かず  
入試験進んで勉強頑張るぞ  
進級祝笑顔でいたゞく尊孫たち  
進歩する時代の古き婆の知恵  
万全に事を進めて運転を  
人生が老追進む我身かな  
AIや交通進化においてけぼり  
政治家は前にもどりがよく進行  
進む道人それぞれに夢抱き  
卒業はしたが其の先茨道  
入学の三男坊に誰がばん  
老いの路曾孫に引かれ歩み行く  
自分から進んで皆で笑いあう  
生命線前に進めと語りかけ  
世進めど情の下に人生きん  
子の進む道切り拓く親の日々  
特進を褒めて財布青くなる  
おめでとう中学校進学へ  
一歩一歩新雪踏んで進む足  
今年こそ全進しよう我が道を  
原発の除染進まず金嵩む  
八十二進む老化にわなげする  
前進め心身一歩行進す  
先進む君の背を見て腰をのす(のばす)

山口	鮎貝	十王	十王	ふじみ野	十王	十王	荒砥乙	荒砥乙	箕和田	鮎貝	高野	広野	箕和田	箕和田	荒砥乙	高野	十王	荒砥甲	箕和田	鮎貝	鮎貝	萩野	山口	山口	荒砥乙	横須賀	世田谷	滝野	浅立	浅立	鮎貝	世田谷	荒砥乙	荒砥甲	山口	武蔵野市	高岡	長井市
渡部喜美子	横沢直太	守谷三郎	守谷勝助	村上桂造	松野いせ子	松田久一	保科努	樋口昭吉	樋口敬子	橋本つね子	新野智耶子	土屋敏子	土屋平敏	土谷灯一	高橋朝子	恒人	鈴木美貴子	鈴木トミ	神保玲子	佐藤幸子	五月保子	紺野五月	児玉保子	小関弘	木口とよ	大滝健次郎	遠藤八重	海老名きち	梅津美千子	梅津太一	植木英夫	糸マサ	五十公野春己	石川與次衛門	池田武子	安部健一	安部ありな	

次回「本」三月二十五日まで。 「気」四月二十五日まで。  
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛